

手をつなごう。さらに広げよう! 27年の歩み

2019年(令和元年)9月20日発行

Linkage Magazine Musashino & Brasov

2019年度 第2号 (通刊123号)

発行: 武蔵野ブラショフ市民の会
理事長 大橋 一範

SINCE 1992



8月3日 歓迎会 「ファンキー」

8月27日 送別会 「MIDOLINO」



バースディケーキの前に
笑顔のオティリアさん



2019年度研修生
オティリア・イシュトックさん研修終了
会員の皆様、
ご協力ありがとうございました!!

むさしの国際交流まつり 2019

11月17日(日)

11:00~16:30

武蔵境スイングビル 11F ブース

・ルーマニアのティーと

お菓子セット販売します!

・専用ステージでワークショップ

13:15~13:45

山田エリーザさん

目次

◆ テオドラ・ギョルギュー ソプラノリサイタル	曾我 大介2
◆ 研修プログラム報告書	オティリア・イシュトク3
◆ NHK取材・当会主催ルーマニア語講座のお知らせ	5
◆ 研修生の着付け体験雑感	長谷川 幸枝6
◆ オティリアさんと会員の皆さんとの交流	6
◆ 富士山 during the typhoon	井口 真澄8
◆ ブラショフ案内	佐藤 明生9
◆ 当会への問い合わせ	10

「テオドラ・ギョルグュー ソプラノリサイタル」

顧問 曾我 大介

四半世紀というのはなんて短くもあり、長い期間なのでしょう。

ブラショフの少女合唱団、「カメラータ・インファンティス」が来日したのはもう 25 年も前のこと。でも昨日の事のように思い出されます。

1993 年、武蔵野市の初の市民文化交流団がブラショフ市を訪れ、大規模な文化イベントをおこないませんでした。着物の着付け、書道、日本食の紹介など、ホテルアローや美術館を舞台にしたイベントでは沢山の市民が訪れました(私はひたすら焼き鳥を焼いていた思い出があります)。

その市民団の観光ルートの中に入っていたのがブラン城。そこで待ち受けていたのが「カメラータ・インファンティス」だったので。異国の地で聞く少女たちの汚れない歌声、そしてサプライズの日本語の歌。一行はその歌声に魅せられ、招聘が決まったのでした。

そして 1994 年。不安な面持ちで成田空港に到着した合唱団。その中の一番のお姉さんがテオドラでした。多摩 7 市の公演においてその魅力的な歌声で観客を魅了すると同時に、ディズニーランドや多摩六都科学館を訪れたり、ホームステイがあったり。極東の異国を訪れる緊張で固かった彼女たちの表情も、日本に魅了され、屈託のない笑顔が広がりルーマニアへと旅立って行ったのです。未だなお当時の思い出を楽しそうに語ってくれる子(もう立派な大人たちですが)もいます。

再会は観客として。まず重厚なプログラムの組み立てにビックリしましたが、この 25 年の間に培った彼女の経験と、弛まぬ努力の重みを感じさせてくれる 2 時間でした。すっかり大人になった彼女(まあ歳を考えれば当然ですね)。歓迎レセプションで当時の話や映像に見せる笑顔だけは、あの時のままでした。

25 年という歳月は人を育て友好を育む一方、国際社会の状況は大きく変化しました。変わらぬことは人間は繋がりを生かして生きていけないということ。きっとこの小さいけど重要な絆が彼女を育てる原動力となったと信じてやみません。



研修プログラム報告書

オティリア・イシュトク



2015年に武蔵野センターに入って以来、センターは私の人生の一部になりました。

高校生の時、武蔵野センターで2年間日本語を勉強しました。大学生になって忙しくなったため、この1年は休学していますが、イベントの時は駆けつけています。

2012年ごろから日本文化に興味を持ち始め、日本が私の夢の国になったことに気付いて7年が経ち、今年、私の願いが叶ってついに研修生として1か月間日本へ行くチャンスがありました。

日本で過ごす1秒1秒が、私の通常のライフスタイルとは違いました。息をするたび、ステップを踏むたび、何かを見るたび、初めての経験をしました。

東京、横浜、千葉、なごろ、鎌倉、江の島へ行きました。東京では浅草、お台場、原宿、池袋、上野、渋谷を訪れました。



いろいろな場所に行きましたが、私のお気に入りには予期していた通り鎌倉でした。大仏、竹林、海を見ましたが、すべてがとてもきれいで感動しました。また、お土産やたくさんのおいしい食べ物を買いました。忙しい一日でしたが、最大限に楽しみました。

私は多くのお祭りに参加することができました。最初はみんなが浴衣を着るのを手伝ってくれました。お祭りで初めてラムネを飲みました。ラムネは夏祭りの典型的な飲み物であることを学びました。綿菓子も食べて、後でみんなで盆踊りを踊りました。大勢で一緒に踊るこのダンスは本当に面白かったです。ルーマニアにはこのタイプの楽しいお祭りはありません。



茶道を学ぶことができ、光栄でした。

私は甘党ですので抹茶は私のお気に入りではありませんが、茶道とその背景にある伝統が大好きです。

日本で3、4回茶道をする機会がありました。

非常に興味深く、日本の生活様式を学ぶ中で重要な経験になったと感じました。帰国後、センターの学生たちに教えて、この経験を共有したいと思います。



富士山にも3日間行きました。

あいにく天気はひどかったです。台風が日本を襲ったのはまさにその日であり、毎日雨が降っていました。しかし最終日、幸運なことに富士山を最高の状態で見ることができました。ルーマニアには台風が全くありませんので、恐らく台風を経験した人はあまりいないと思います。ですから台風に遭ったのはうれしかったです。また、素晴らしい経験になりました。



滞在中、私は着物や浴衣を自分で身につけることを学びました。浴衣を着るのが好きです。浴衣はルーマニアの伝統的な服とは大きく異なり、普段着ている服とも違うからです。浴衣はよりカラフルで、女性らしい雰囲気があります。練習すればするほど上手いくので、もっと練習しなくてはと思いました。

また、私の先生はとても優しく、優雅さ、髪型、座り方、帯を縛る様々な方法について教えてくれました。最初は着物を着るのは非常に複雑で、きちんとできないと思っていました。しかし恐れていたほど複雑ではありませんでした。私は特に帯の美しさと優雅さに大変魅了され、双子の姉にもぜひ教えたいと思いました。

私は現代に属する若者で、原宿や新大久保のにぎやかな通りを歩き回るのを楽しみましたが、日本の過去はもっと魅力的でした。日本は現代と伝統の完璧なバランスを見つけた珍しい国です。

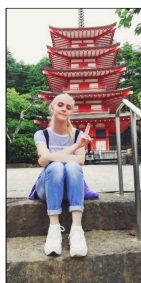


日本の建築について学びたいと思っていたので、江戸博物館と国立博物館に行きました。もちろん私は多くの興味深いものを見て、日本の歴史についてより多くを理解しましたが、本当に印象に残ったのは、鎧の

展示と江戸時代の実物大の建物です。ルーマニアにはそのような博物館がないため、それらの展示は私を大変魅了しました。

初日から、自転車の数に驚かされました。

ルーマニアでは、交通手段として自転車に乗ることはめったにありません。日本では誰もが自転車を所有しています。2、3人の子供乗せたお母さんを見て驚きました。自転車に乗る機会がありましたが、ルーマニアとはまったく状況が違います。私が住んでいる町にはたくさんの丘があるので、自転車をこぐのに多くの力が必要です。東京では、ほとんどの道路は平らです。また、近隣はそれほど危険ではありません。みんなと一緒に自転車に乗って本当に楽しかったです。それは子供時代を思い出させました。



私は自然と日本の公園が好きなので、多くの有名な公園を訪れ、日本の公園と庭園の配置スタイルについて学びました。

ルーマニアにも美しい公園はありますが、日本の伝統的な庭園と同じ静けさはありません。

神社も大好きです。私は赤がどれだけ美しく見えるかに魅了されました。神社で正しい祈り方を学びました。おみくじ、お祈りの前に手と口を浄化する方法、神様を守る神社の前の石像について学びました。



みなさんの忍耐に感謝します。彼らの説明のおかげで、私の日本語は少しずつ良くなっていきました。最初は非常に緊張していたので、ほとんど話すことができませんでした。1か月の滞在中、私は本当に多くの単語を学び、話し方はよりリラックスして自信ができました。また友達を作り、年配の人とも話したので、シンプルな話し方と共に丁寧な話し方についても学びました。

1か月の間に多くのことを見て学びました。たとえば電車の乗り方など、さまざまな状況で行動する方法を学びました。

しかし、最も重要な学びは日本人の忍耐と他者への敬意でした。日本人は他者を尊重する行為が組織化されています。バスや電車では自分が先に乗ろうとせず、みんな並んで他者を尊重します。電車の中では本当に思慮深い。私はこの文が好きです：マナーモード。とても日本人らしいフレーズです。誰もが忙しいにもかかわらず、他の人に迷惑をかけないよう最善を尽くしています。ルーマニアでもルールは同じですが、残念ながら全員がルールを守っているわけではありません。

こういったルーマニアとは違うところを毎日発見し、学びました。

非常に素晴らしい経験だったので、他の人にも同じように経験してもらいたいと思っています。この研修プログラムが継続することを切望し、そのために全力を尽くすつもりです。

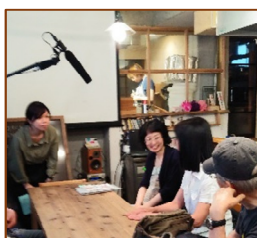
この素晴らしい国を去って、美しい思い出が残りました。私はこの記憶を一生思い出すことを願っています。いつかまた日本へ行きたいです。

皆さんにもう一度感謝します。 (*原文のまま、レイアウトの関係で写真のみ縮小)



7月27日

NHK 朝 (7:45~8:00) と夜の番組「ネタドリ」で5分ほど (19:30~19:57)、オリンピック・パラリンピックホストタウンの取組みとして、会のルーマニア講座とその後のカフェの様子が放映されました。



ルーマニア語講座 ☆ 吉祥寺で開催している会話講座です ☆

2020年東京オリンピックでルーマニアのホストタウンとなった武蔵野市。多くの注目を集める中、会ではルーマニア語だけではなく、現地の習慣や伝統、文化などのお話し、ゲストを招き交流なども行っています。アットホームな雰囲気で見学もできますので、初心者の方でも気軽にご参加いただけます。(会場は、変更の時もありますので、HPで確認してください。)

◆日 時：毎月第1・第3水曜日 13:00~15:00

◆場 所：御殿山コミュニティセンター tel: 0422-22-7002

◆参加費：2回分 2,000円 (月単位払い)

◆問合せ先：「会」E-mail アドレスへ musashino_brasov2020@yahoo.co.jp

◆講 師：山田エリーザ (ルーマニア トゥルゴヴィシュテ出身)

**武蔵野市は、2020東京オリンピック・パラリンピックで
ルーマニア国の『ホストタウン』です!!!**

☆☆☆ 問合せ先：武蔵野市役所 市民部 交流事業課

☎ 0422-60-1806 (直通)

2019.7.16 佐藤明生さんより



研修生の着付け体験雑感

会員 長谷川 幸枝

ブラショフからの研修生の着付け体験を引き受けて4年になります。いつも日本語がきちんと話せる研修生さんで大変助かっています。日本のことをしっかり勉強し、楽しんで下さっていること、とてもうれしく思います。



“着付けを自装できること、できれば他人に着せてあげられること”が今年の研修生の目標と伺っていましたので、今年は時間を繰り上げて、10時からお稽古を始めました。今年のオティリアさんが、足袋のこはぜを上手に下からきちんとかけている姿を見てびっくりしました。日本人の主婦の方でも足袋がしっかりとはけない人が多い時代です。

わたしは着物を着ることも、人様にお着付けしてあげることも大好きですので、着物を着てみたいと思う人がいましたらいつでもお着付けしてあげたいと思います。

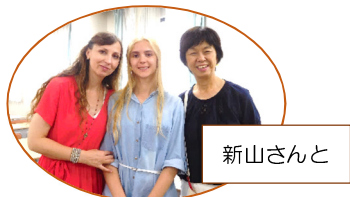
今、日本人が着物を着る方が少なく、あちこちでレンタル衣裳で散策することが流行っています。

私も浅草でこういう仕事をさせていただいていますが、外国の方が多く、日本の四季・年齢に関係なく、夏でも親子で振袖を着て散策する姿を見ますと、とてもさみしく残念に思います。

日本の着物文化を守りたいと思いますが、商売のじゃまもできませんし、せっかく日本に来たのだから華やかに着かざりたい気持ちもわからないわけではありません。

日本でも中学生・高校生に浴衣の自装の講習会も、7～8年前から始まっていますので多くの学校で実行していただき、日本の着物文化に親しみを感じてくれたらと思います。

オティリアさんと会員の皆さんとの交流



8月7日
ルーマニア語教室 歓迎会



8月8日 茶道体験
藤島先生・森山先生



8月9日
鎌倉・横浜



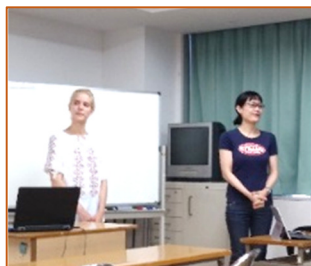
8月10日
日本料理教室
高野豆腐がお気に入り



8月11日
宝登山・長瀬川下り
黄金団子(みそ味)に舌鼓



8月13日 目黒雅叙園
和のあかり展
幻想的な空間の美しさを
記念にパシャ！



8月24日雑大講師
「ルーマニアのオリ
ンピックについて」
発表 木村先生と



8月24日 MIDOLINO 祭り
二人の民俗衣装に注目



8月24日
FM出演



8月27日 送別会
ナツメグさんと
深沢さんと



8月28日
他装(人に着せること)の練習・
茶道のおさらい



8月28日 書道
「丘照矢 オテリヤ」と読みます。
「緑きらめく丘を走り去る矢」
指導：大久保先生

富士山 during the typhoon

会員 井口 真澄

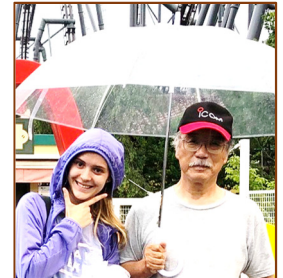
8月 14.15.16 日、台風 10 号襲来の最中、急遽エリーザさんのピンチヒッターとして富士山に同行させて頂きました。

熟練したハンドルさばきの岩井さんは、目まぐるしく変化する天候の中、ご用意下さったリストにオティリアさんがチェックした箇所をプラスして、次から次へとご案内下さり、日帰り同行下さった、山レディ大西さんも、初めて訪れた場所ばかりであったと、盛り沢山な 3 日間でした。

[14 日] 猿橋 山梨県立リニア見学センター 屋台(八朔祭に使用)見学 都留市博物館
松尾芭蕉ゆかりの地 名物 吉田うどん 富士山駅 石割の湯見学

[15 日] 世界文化遺産「富士山」構成資産 北口本宮富士浅間神社
山梨県富士湧水の里 水族館 富岳風穴 西湖いやしの里
根場 河口湖散策 新倉山浅間公園 富士急ハイランド

[16 日] 富士山五合目 小御獄神社 花の都公園



歴代研修生達の話がインプットされているオティリアさんは、日本で経験する事が、デジャヴのようだと言っていました。今回の富士山ではスコールの後の大きな虹に遭遇したり、道中、ラクダの着ぐるみで、埼玉から富士山頂目指し歩いている学生 4 人組との、微笑ましい出会いもあり、ひと味違った経験になったのかもしれない。

外せない場所の 1 つの富士急ハイランド。〈パニックロック〉に 1 人で乗り込んで行き、笑顔で手を振る勇敢さ。彼女にあやかって、私もやるか！と 2 人で〈クール ジャパン〉で 18m の水飛沫を浴びて年甲斐もなく大はしゃぎさせて頂きました。

最終日には、やはり外せない富士山五合目を決行。上に行けば行く程、雨風が強くなる中、神社の鳥居さえ見つけるのが困難な視界で「ここはどこですか？」状態。動じない彼女と甘酒飲んで無事下山しました。

3 日間探し続けた富士山の勇姿。土産話に外せないでしょうに…。が、帰途に入った直後、もしや！？ クッキリ姿をみせてくれた富士山に、岩井さんは、さぞやホッとしたに違いありません。



ルーマニアにはないという竹や、年中赤いノムラもみじに目を奪われ、鳥の鳴き声と間違えていた蝉の音に聴き入り、水族館の魚や、服を着ている小型犬をみては「かわいそう…」と呟き、踏まれそうな毛虫を見つけては、葉っぱで安全な所に移動させている、オティリアさん。ラクト オボ ベジタリアン思想が一貫しているクールビューティの魅力に、心洗われた富士山小旅行でありました。

ブラショフ案内

会員 佐藤 明生

皆さま、ご無沙汰しています。全く会のイベントに行かない佐藤です。

商売で縁あって、ルーマニアに出入りする様になってから7年目、現地出張も早20回を超えました。我がパートナー「クロノスパン社」の日本向け商売伸長に伴い、各地からブラショフ工場見学が続く事に拠るものです。感謝！感謝！

お蔭様で2018年、クロノスパングループ・ルーマニア工場からのOSB(ベニヤ板に似た建築用パネル、ホームセンターでも販売中)は日本国内シェア10%、輸入実績は堂々2位(欧州産では1位)となりました。

と宣伝はここまで、今回は最新のブラショフ面白情報を書きます。

<p>食べ物編</p>	
	<p>●ルーマニアレストラン「Casa Romaneasca」 ムレシェニロール通りを、黒教会を左手に坂を上がり、ラウンドアバウト、ジョージディマ公園を超え、かの優秀なアンドレイシャグーナ高校を左手に、バイロール通りを南西にずっと進んでいくとウニリ広場、そこに面しています。ポークリブが絶品。</p>
	<p>●イタリアンレストラン「Prato」 旧市街地北東、秀逸のイタリアレストラン。少し高いですが、お洒落して、訪問最終日晩にお勧め。 この高地ブラショフで、美味しいカルパッチョが食せます。</p>
	<p>●ルーマニアレストラン「La Ceaun」 スファトゥルイ広場に面したカジュアルなルーマニアレストラン。ロシアがかった汁ものが、どれも上手い。安いので、いつも地元の人で一杯(だからなかなかウェイトレスがオーダー取りに来ないのが難)</p>
	<p>●アイスクリーム屋「Emma De Dorce」 スファトゥルイ広場から少し北東に行ったジェラート屋、いつも長蛇の列なので、すぐ判ります。 お姉さんがこれでもか！と豪快に盛ってくれるのも嬉しい限り。 広場のベンチで食べながら、青春時代を思い出しましょう。</p>
<p>お笑い編</p>	
	<p>●エセ百均「ゆうやと」 スファトゥルイ広場スターバック隣。入ってすぐ判る中国資本、どれもこれも、パクリとグーグル翻訳に拠るぐちゃぐちゃ日本語のオンパレード。中で、何故かお菓子だけは本物日本製、が値段は全て4倍以上。「知らない事が一番強い！」を思い知らされますが、これを日本製と思っちゃあ困ります。 クロノスパン同僚に、直ぐ緊急レポートをあげたのは言うまでもありません。</p>



●**ブラショフ唯一の日本食屋「世界」(旧小町)**
 オーナーが日本人から、フィリピン人の奥さんとルーマニア人の旦那の夫婦に替わり、引き続き日本食ではあるものの、同じく引き続き試行錯誤中（に見える）。
 必ず腹を一杯にしてから行ってください。そして異国の地で、大いに腹を振りましょう。メニューを見た瞬間、いまだかつてない「笑撃」(not 衝撃)が容赦なく見る者を襲います。秋なら、2階天井にぶら下がっている葡萄もただでくれます。
 センターの木村女史に、この夏、当店起死回生への秘策がある様です。秋に期待しましょう。

お土産編

●**Gerovital 専門店「Farmec」**
 スファトゥルイ広場に面した前述ジェラート屋の並び。すっかりお友達になってしまいました。初めて日本から来たお客様に必ず聞かれる「お土産は何が良いですか？」に、ここばかり勧めていたら、皆、開店と同時に同クラシックシリーズのハンドクリームを「箱」で買う様になり「日本人よ、お前もか！」状態。そろそろ店とキックバックの交渉をしなければ！！最近では中国人が押し寄せている模様。なお忘れずに試供品を貰いましょう。

番外編

●**スキーリゾート「ポイアナ・ブラショフ」**
 図書館前バスターミナルから 20 分、こんなに大規模リゾートだったの？と思わせる高級ホテル群です。
 バスターミナルから高速 Gondola 乗り場まで、是非歩いてみましょう。松・モミ・トウヒの巨木がかしこにそびえ立っていて、商社木材部出身の私としては心躍りますね。

以上、楽しんで頂けましたか？

会員の皆さまへ： 入会御希望の方へ：

会費は、会報紙の発行や「会」事業の補充金として使われています。
 年会費を納入していただくことで、更新および加入手続きは完了します。
 会費納入は下記へお振込み頂くか、お近くの理事までお願い致します。
 (入会金・不要。 会計年度は 4 月～翌年 3 月です)

◆2019年度 年会費： **2,000円** 賛助会員： 一口 5,000円

◆ゆうちょ B. 振替口座 記号： 00170-9-773063

武蔵野ブラショフ市民の会

↓ 当会へのご連絡・問い合わせ等は下記へどうぞ

- * 「会」E-mail アドレス： musashino_brasov2020@yahoo.co.jp
- * 「会」ホームページ： <http://musashinobrasov2020.g2.xrea.com/>
 (変更の都度、更新しています。特に新規のルーマニア語参加者は開講日時&場所をご確認ください。)
- * Tel & Fax： 0422-43-4421 HIRAI Yasuko (当会 副理事長 平井 安子)
 〒180-0003 武蔵野市 吉祥寺南町 3-4-11

(編集) 佐々木・藤田 (協力) 大橋事務所 加藤 (志)